

# エビデンスに基づく推奨の効果的な伝達： GRADEとDECIDEによる取り組み

相原 守夫<sup>\*1</sup>

相原内科医院

## Effective dissemination of evidence-based recommendations: Approach by GRADE and DECIDE

Morio Aihara

Aihara Clinic

診療ガイドラインは、エビデンスのシステマティック・レビューや複数の治療選択肢の利益と害の評価に基づく患者ケアの最適化を目的とする推奨を含む文書であり、その利用者はますます増加傾向にある。GRADE<sup>\*2</sup> Working Group (ガイドライン作成者、医療専門家、疫学者、統計学者からなる幅広い専門分野を代表する国際団体)は、十数年の年月をかけてエビデンスの質や推奨の強さの評価と伝達のためのアプローチ (GRADEアプローチと呼ばれる) を構築してきた。今日ではGRADEアプローチは十分に確立され、国際的に広く使用されており、システマティック・レビューや診療ガイドラインのみならず医療技術評価にも適用されている。

ガイドラインの作成手法が確立した今、GRADEの推奨を医療専門家、政策決定者、患者、その他の関係者に最善の形で提示、配布するためにはどうすべきなのだろうか。本稿では、この問題に関する欧州におけるコミュニケーション戦略の1つ

であるDECIDE計画に関するkey論文<sup>\*3</sup>の概要を解説する。

「エビデンスに裏付けられた情報に基づく決断と診療を支援するコミュニケーション戦略の策定と評価 (DECIDE: Developing and Evaluating Communication Strategies to Support Informed Decisions and Practice Based on Evidence)」計画は、GRADE Working groupの取り組みを土台として、エビデンスに基づく推奨を医療専門家、政策決定者、患者と一般市民に効果的かつ効率的に伝達し、なおかつ理解を促すための戦略を策定し評価するもので、欧州委員会の共同出資による5ヵ年計画 (実施期間: 2011年~2015年) である。

DECIDE計画の取り組みは、医療専門家 (WP1)、政策決定者と管理者 (WP2)、一般市民や患者と介護者 (WP3)、診断検査 (WP4)、医療システム方針 (WP5) からなる、それぞれが異なる利害関係者集団または推奨の種類を対象とした5つのワークパッケージ (WP: work package) を中心に

<sup>\*1</sup> Member of the GRADE working group

<sup>\*2</sup> Grading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation

<sup>\*3</sup> Treweek S, et al. Developing and evaluating communication strategies to support informed decisions and practice based on evidence (DECIDE): Protocol and preliminary results. *Implement Sci.* 2013; 8: 6.

構成されている。各WPは3つの段階（第1段階：戦略の策定とユーザーテスト，第2段階：コミュニケーション戦略の評価，第3段階：実際のガイドラインを使用した戦略の検証）により策定される。DECIDE計画にはさらに3つのワークパッケージ（エビデンスに基づく推奨を作成し配布するためのツールキットを作成するWP6，コミュニケーションを支援するWP7，プロジェクト管理のためのWP8）がある。これらのWPには，推奨の正当性をユーザーに伝達するための基盤ならびに決断支援ツールのための基盤となる，エビデンスから推奨を導くための枠組み（Evidence to Recommendation Framework）の提供が含められ，さらにはGRADEproを使ったオンライン・エビデンスプロファイルの構築，対話式結果要約表（interactive Summary of Findings Table）の開発

が検討されている。

GRADEガイドラインを電子カルテに統合し，医療現場における適用や医療の推奨の動的な臨床決断支援システムを開発することを目的とするMAGIC（Making GRADE the Irresistible Choice（GRADEを魅力的選択肢にするための取り組み）<sup>\*4</sup>：<http://www.magicproject.org/>）というパートナーとともに，診療ガイドラインにおける推奨の最善のコミュニケーション戦略が欧米で進められている。

このように，エビデンス診療ギャップの改善において，海外ではガイドラインを「作る」という時代から，いかに「使う」「伝える」かの段階にあり，GRADE/DECIDE/MAGICの取り組みは世界各国の医療システムで研究成果を診療に反映できるよう支援するものである。

\* \* \*

---

<sup>\*4</sup> <http://www.grade-jpn.com/magic.html>（MAGIC webサイトのトップページを許可を得て和訳紹介している）